

## 地方協会だより

公益財団法人  
鳥取県市町村振興協会

## I これまでの経過概要

当協会は、市町村振興宝くじ（サマージャンボ宝くじ）及び新市町村振興宝くじ（ハロウィンジャンボ宝くじ）の収益金を活用して、県内市町村の振興発展を図り、住民福祉の増進に資することを目的として、昭和54年4月に財団法人として設立されました。

平成25年4月1日には公益財団法人へ移行し、市町村振興のための各種事業に取り組んでいます。

## II 協会の概要

- |  |  |
|--|--|
| 1 関係市町村数（令和2年4月1日現在）<br>19市町村（4市15町村）                          | 3 基金等の状況（令和2年3月末現在）<br>基本財産 3,000千円<br>基金積立資産 904,881千円<br>長期貸付金 7,849,049千円 |
| 2 体制（令和2年4月1日現在）<br>評議員 5名<br>理事 9名<br>監事 2名<br>事務局 3名（併任職員1名） |  |

## III 事業概要

## 1 貸付事業

県内市町村が行う公共事業等に対し、低利での資金貸付を行っています。災害時における緊急融資事業等に対する短期貸付、災害防止対策事業及び緊急に整備を要する施設等整備事業等への長期貸付を行っています。



米子市 市営住宅長寿命化事業  
(令和元年度 長期貸付事業)



伯耆町 小規模保育所施設整備事業  
(平成28年度 長期貸付事業)

【長期貸付実績】

(単位：千円)

年度	貸付団体数	貸付事業数	当期貸付額	長期貸付期末残高
H27年度	8	34	812,800	7,175,721
H28年度	8	46	1,108,100	7,324,116
H29年度	8	19	1,189,600	7,517,510
H30年度	6	23	1,291,800	7,829,618
R 1 年度	8	18	945,400	7,849,049

2 預託事業

自治会等が集会所を整備する場合に、低利で長期資金が円滑に利用できるよう、必要となる相応の資金を金融機関に無利子で預託しています。

3 宝くじ等交付事業

(1) ハロウィンジャンボ宝くじ等市町村交付金事業

市町村が実施する地方財政法第32条に規定する事業を定める省令に該当する事業に対して、ハロウィンジャンボ宝くじ等の収益金全額及びサマージャンボ宝くじ等の収益金を積み立てた基金の運用益の一部の合計額を、市町村交付金として交付しています。

(2) 広報事業

市町村振興宝くじの収益金がまちづくりに役立てられていることを地域住民の方に理解していただき、宝くじの販売促進を図ることによって当該事業が更に充実するよう、広報活動にも取り組んでいます。

[令和元年度広報内容：サマージャンボ等宝くじ]

媒体	活動内容
音声付大型ラッピングカー	3 tトラックの左右側面、後面及び正面上に広告を掲出し、当該広報に関する音声を流して、県内東・中・西部の主要道路を日替りで運行。 台数：1台 実施期間：7/15～7/28の9～17時

媒体	活動内容
ラジオCM	F M山陰で20秒CMを放送 放送本数：12本 放送日：7 / 5 ~ 7 / 28
デジタルサイネージ	JR鳥取駅、倉吉駅、米子駅に設置されているデジタルサイネージに広告を掲載 設置数：鳥取2、倉吉1、米子2 設置期間：7 / 22 ~ 7 / 28
市町村広報紙	県内市町村に広報紙への広告掲載を依頼 広告掲載：14市町村
ポスター（受託銀行作製）	県・関係団体に、窓口・掲示板等へのポスター掲示を依頼
ホームページ	協会ホームページに宝くじのPRを掲載



ラッピングカー「宝くじ売場へ号！」

[令和元年度広報内容：ハロウィンジャンボ等宝くじ]

媒体	活動内容
ラジオCM	F M山陰で20秒CMを放送 放送本数：10本 放送日：9 / 24 ~ 9 / 30
デジタルサイネージ (電光掲示板)	JR鳥取駅、倉吉駅、米子駅に設置されているデジタルサイネージに広告を掲載 設置数：鳥取2、倉吉1、米子2 設置期間：9 / 23 ~ 9 / 29
市町村広報紙	県内市町村に広報紙への広告掲載を依頼 広告掲載：17市町村
ポスター (受託銀行作製)	県・関係団体に、窓口・掲示板等へのポスター掲示を依頼
ホームページ	協会ホームページに宝くじのPRを掲載

#### 4 緊急災害支援事業

災害救助法が適用される地震、風水害、火災等の大規模災害が発生した市町村に対し、その復旧対策の促進が図られるよう災害支援金を交付しています。

近年では、平成28年10月21日に発生した鳥取県中部地震で被災し、災害救助法が適用された1市3町に対し、御見舞として支援金（計1,500千円）を交付しました。

#### 5 共同助成事業

広域消防等が、大規模災害に際して、各広域消防等の区域を越えて連携して行う応援活動等に

要する経費について助成しています。

## 6 情報提供事業

県内市町村の紹介、重点事業をはじめ、行財政状況等の各種分析統計資料を収集・編集した次の冊子やCD-Rを作成し、市町村及び関係機関への配布等を行っています。

- (1) 鳥取県市町村要覧
- (2) 鳥取県市町村財政概況

## 7 人材育成支援事業

- (1) 人づくり推進事業

市町村職員等の能力開発と人材育成を目的に、全国市町村研修財団等の実施する各種研修等への参加の促進を図るとともに、各般の連絡調整等を行っています。

- (2) 共催研修事業

社会情勢の変化や関係行政のニーズ等も勘案し、必要に応じて、市町村職員等の自己研鑽の契機として、業務遂行能力の向上等を支援するための研修会を鳥取県等と共催で実施しています。

[令和元年度 講演会の様子]

「2040年の未来の市町村長の立場で政策提言を考える

—未来ワークショップ手法の展開—



## IV 今後の運営について

宝くじの売上が低減傾向にあること、また、近年続いている超低金利等の影響による利息収入の減少により、財政規模の小さい当協会には今後も厳しい運営状況が続くことが見込まれます。

一方、人口減少や防災対策、地方創生など市町村振興のための支援は、ますます重要となってきます。

このような中ではありますが、設立目的に沿うよう、各事業及び運営に工夫しながら取り組みたいと考えています。